

2015年度 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	医療管理・事務総論	科目区分	時間	回数
担当講師	近藤 保	中級	50分	--

講義概要

医療機関に勤務する職員は、専門職種が多数を占めているが、間接部門である事務部門が果たしている役割は、病院運営上大変重要である。

本科目は、医療事務職員が行う業務（総務・管理・経理・医事等）全般について学習する。提出や報告義務のある病院報告・立入検査・保険医登録・麻薬免許申請・施設基準・適時調査・個別指導等には、どのような情報が必要なのか、医療法をはじめとする法令に基づいて事務部門がどのような業務をおこなっているかを中心に解説する。

講義の目標

医療事務部門の行っている業務の概要全般に触れ、各業務のエッセンスを理解する。また、現在の自分の立場で関与できる業務の有無について判断できるようになる。

講義内容

- 1.作成する資料の中身を知る。
- 2.知っておくべき知識や学んでおく知識を習得する。
- 3.法人会計に触れる。

2015年度 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	医療統計概論	科目区分	時間	回数
担当講師	初山 貴	中級	50分	--

講義概要

診療情報管理士の業務は、月次・年次での疾病統計の作成をはじめとして、診療情報を活用した分析資料の作成が求められるが、これらを作成するためには、統計学の知識は欠かせない。本科目では、疾病統計やその他診療情報を使用した分析資料作成に必要な記述統計学の知識（解釈）を学び、これらの知識をもとにした可視化手法について学ぶ。

講義の目標

- ・統計資料作成に最低限必要な知識を習得する。
- ・統計学の理論を学ぶきっかけにする。
- ・統計の知識を活用し、疾病統計等の資料作成ができるようになる。

講義内容

- 1.代表値（平均値、中央値、最頻値）
- 2.分散と標準偏差
- 3.四分位と箱ひげ図
- 4.散布図を使用した相関分析・回帰分析の考え方と使用方法
- 5.統計作成で活用できるサイトの紹介

2015年度 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	診療情報データ活用論	科目区分	時間	回数
担当講師	久保 博文	中級	50分	--

講義概要

『診療情報管理士業務指針』には「退院時要約等を含めた多岐にわたる診療情報から有効に活用し得る情報を抽出して集積し、診療報酬等の情報と関連させて病院の運営に資するように分析することも行われる。」とある。また、診療情報に関わる様々なデータは、フォーマットが統一され公表されるようになったことで、これらデータを用いた分析が盛んに行われるようになり、医療マーケティング等で効果的に活用することが昨今求められている。そうした指針やニーズの以前から診療情報管理士が行う業務として疾病統計作成が挙げられる。

本講義では、自院が蓄積している退院時要約等を含めた診療情報を基にした疾病統計作成について解説し、作成方法のスキルを高める。中級ではあるが、やや初級よりの内容を予定している。

講義の目標

- ・疾病統計の再確認
- ・疾病統計作成方法と利用できるツールを知る。
- ・他院の事例を見ることで自院での作成のヒントにする。

講義内容

1. 診療情報について

2. 疾病統計作成方法

3. 当院の事例